

熊本大学医学部附属病院 中央検査部 専門修練プログラム

1. プログラムの概要・特徴

中央検査部は、熊本大学医学部附属病院の中央診療部門の中で、採血業務から超音波検査を含む生理検査、微生物・遺伝子検査を含む検体検査などを司る検査の中核部門です。臨床検査医学診療を基礎に、検査の専門的研修を提供します。検査領域の研修内容は広範に渡るため、随時研修医個人の研修状況を確認し、必要に応じて病院内の他の診療科での研修も可能です。

皆さんが本プログラムを受けることにより臨床検査専門医の取得が可能となります。他科の認定医取得後に当科での研修を開始することも可能です。臨床検査専門医は、臨床検査（血液や尿などを対象とする検体検査と心電図などの人体・生理機能検査）に関する専門的医学知識と技能を有し、臨床検査が適正に実施できるよう管理し、医療上有用な検査所見を医師・患者に提供する医師です。また、新たな臨床検査の研究および開発を行うとともに、臨床検査医学の教育に従事します。2008年4月から「臨床検査科」が「内科」や「外科」と同様に、診療科としての標榜が可能となり、今後は臨床検査を通じて特定健康診査に貢献することで予防医学を行う専門医として発展していくと考えられます。一方、大学病院では診断や病態把握の困難な疾患に対する検査法を開発し先進医療を実施する医師として基礎医学と臨床医学をつなげる役割を担っています。臨床検査は現代の診療に必要不可欠であるにも関わらず、臨床検査専門医の数は全国で796名と不足していますので、皆さんの専門的価値を向上させることが出来ます。

表. 臨床検査専門医取得に必要な学会所属年数

1. 基本型 (学会認定医制協議会の合意によるもので、原則としてこのプログラムによる研修が必要)	認定証の申請には5年の会員歴が必要
2. 他の基本的診療科の認定医 (内科、病理、眼科等で、他学会の認定医資格取得後に、臨床検査医の研修を開始したもの)	認定証の申請には3年の会員歴が必要

臨床検査専門医の取得と並行して、Subspecialtyの資格取得（超音波専門医、臨床遺伝専門医、病態栄養専門医、栄養サポートチームコーディネーター、インфекションコントロールドクターなど）も可能です。

2. 研修目標

【一般目標】患者を全人的に診療するために検査医学領域を中心とした基本的診療能力を修得する。

臨床検査専門医としての専門的知識と技能を習得する。

【行動目標】

(1). 中央検査部の理解

中央検査部の機能と各診療科との関係を理解し、臨床検査に関して各診療科医師のコンサルタントとして機能できる。

(2). 検体検査法の理解

様々な検体検査（ヘモグラム、生化学、凝固系など）の測定原理を理解し、適切な検査計画の立案と検査結果から病態の的確な評価が出来るようになる。緊急検査（血液、尿、髄液、グラム染色、ウイルス定性検査など）を自ら行い病態を把握できるようになる。

また、臨床検査医学の実践を通じて、予防医学・健康管理の分野で貢献できる。

(3). 微生物検査法の習得

細菌の同定と薬剤感受性判定を行い適切な抗生剤の使用を提案できるようになる。真菌、抗酸菌、ウイルス感染症に対する検査法を習得する。

(4). 生理機能検査法の修得

心電図、負荷心電図、各種超音波検査、脳波、筋電図、自律神経機能検査、呼吸機能検査等、直接患者に行う検査ができるようになり、かつ、結果の解釈ができるようになる。

(5). 遺伝性疾患に対する検査・診断過程の習得

遺伝性疾患に対する検査の実施と解釈に加えて、その結果が患者本人や家族に及ぼす影響を理解し、適切な倫理的配慮が出来るようになる。また、先進的な科学技術や知識を駆使し、医療現場へ応用する大学病院ならではの取り組みに対する理解を深める。

3. 研修スケジュール

3年目～およそ10年目

	3年目	4年目	5年目	6年目	7年目	8年目	9年目	10年目
A	大学病院		大学院				大学病院	
B	大学院				大学病院 もしくは 関連施設			
C	大学院				留学			

※具体的な研修内容は各後期研修医の希望により個別に設定します。

専門医取得後は、1. 臨床検査専門医として大学病院を含めた病院勤務、2. 医学博士取得のため大学院進学、3. さらなる研鑽のため国内・国外留学などが可能です。これまでの海外留学先は、Umeå University (Sweden), Indiana University School of Medicine (USA), Institute for Molecular and Cellular Biology (Portugal)です。希望により他科での更なる研修も可能です。

4. 評価

各個人に対して設定された個別の目標を達成しているか指導医が評価し、習得できていない点を改善するよう内容を変更します。専門医取得に向けた基準を満たしているか適時評価をします。内科などの各診療科への研修が必要であるか随時、将来の方向性を各個人と話し合います。

5. 募集人員 2～3名

6. 研修実施責任者 安東由喜雄（教授、中央検査部長）

7. 研修指導責任者

大林光念（講師、中央検査部副部長）、城野博史（講師）、庄野信（助教）

8. 学会認定状況

日本臨床検査医学会認定研修施設、日本栄養療法推進協議会認定NST稼働施設、日本静脈経腸栄養学会NST認定教育施設

9. 連絡先

熊本大学医学部附属病院 中央検査部

〒860-8556 熊本県熊本市本庄1-1-1

連絡担当者：大林光念（E-mail：konen@fc.kuh.kumamoto-u.ac.jp）

TEL：096-373-5281（直通）、096-373-5283（医局）、FAX：096-362-7540

ホームページ：http://www2.kuh.kumamoto-u.ac.jp/diagnostic/index.htm